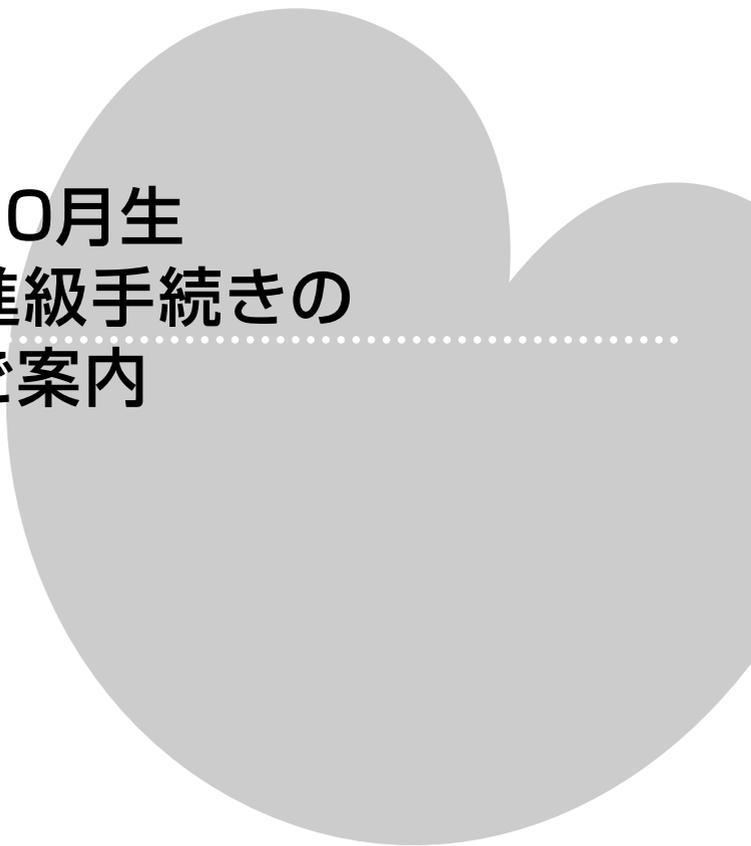


# 6部

10月生  
進級手続きの  
ご案内

A large, light gray abstract shape resembling a stylized cloud or a series of overlapping circles is positioned in the lower right quadrant of the page. A horizontal dotted line extends from the right edge of the text '進級手続きの' across the width of the page.

# 1 正科生の進級手続き

## 1 進級手続きの流れ

### ●来年度学費納入依頼書＝7/21発送済

- ・学費納入をされた方へ順次「履修希望科目登録用紙」を送付しています（早めに履修登録を行えば早めに教科書が届きます（8/20以降発送予定））。
- ・下表の日程で諸手続きを行えば、新しく履修登録した科目でも9/9以降開講のスクーリングを受講可能です。

### ●進級の流れ・履修登録の際の諸注意（下記①②を参照）

#### ①『学習の手引き』4章「1 正科生の進級手続き」

※本年度より「宅配便宛名用紙」と「レポート用紙送付申込書」は送付されません。

#### ②「履修希望科目登録用紙」に同封される手紙

### ●スクーリング受講可能日と学費納入・履修登録期限

|                         | 学費納入期限  | 履修登録期限(必着) |
|-------------------------|---------|------------|
| 9/9～24の夏期スクーリングV        | 8/3(木)  | 8/17(木)    |
| 特講・福祉心理学8(ストレスとつきあう心理学) | 8/22(火) | 9/5(火)     |
| 9/29～10/28の秋期スクーリングI    | 8/24(木) | 9/7(木)     |
| 9/15申込締切の社福演習Bほか        | 9/1(金)  | 9/15(金)    |
| 10/1申込締切のオンデマンド・スクーリング9 | 9/17(日) | 10/1(日)    |
| 10/28～11/12の秋期スクーリングII  | 9/21(木) | 10/5(木)    |

## 2 復学希望者

現在休学中で10月からの復学希望者は、「(退・復)学願」(『With』124号 or 『学習の手引き』巻末)の「復」に○をつけて、7/31(遅くとも9/30)までにご提出ください。「復学願」の受理後、本年度の学費納入依頼書をお送りいたします。

## 3 休学希望者

10月からの休学希望者は、『学習の手引き』4章IIを確認のうえ、「休学許可願」(『With』124号 or 『学習の手引き』巻末)を9/30までにご提出ください。「休学許可願」の受理後、休学費納入依頼書(1万円)をお送りいたします(2005年度以前の入学者は除く)。

注1) 休学は1年単位です(復学は2018年10/1以降可能)。

注2) 休学中はレポート提出、科目修了試験受験、スクーリング受講はできません(図書館:利用可。『With』:送付されます)。

注3) 来年度の学費(8~12万円)は納入しないでください。

注4) 9月末までのスクーリングは履修登録済みであれば受講可能です。

## 4 在学期間満了予定者へのお知らせ

1年後の2018年9月末で在学期間が満了(1年次入学者=10年 2年次編入学者=9年 3年次編入学者=8年)となる10月生の方は、下記のとおりです。

①学籍番号08で始まる正科生で休学したことのない方

②学籍番号07で始まる正科生で休学を1回(1年分)した方

③学籍番号06で始まる正科生で休学を2回（2年分）した方

④学籍番号05で始まる正科生で休学を3回（3年分）した方

⑤学籍番号04で始まる正科生で休学を4回（4年分）した方

卒業や目指す目的を是非成就していただければ、と心より願っておりますが、学習計画上、下記の点にご注意ください。

- (1) 在学期間（1年次入学者＝10年 2年次編入学者＝9年 3年次編入学者＝8年）満了後の休学はできません。そのため、⑤に該当する方は休学ができませんので、来年9月末で在籍期間が満了になります。
- (2) 在学期間が満了になっても、再入学は可能です。再入学した場合、これまでで修得した単位は、再入学時の適用カリキュラムに対応して単位認定されます。

## 5 転学科希望者

『With』124号 p. 47～48記載のとおり、転学科を希望する方の応募書類の受付は7/20で終了しました。

## 2 10月に再入学を希望する場合

①科目等履修生から10/1付で正科生1年次・2年次・3年次に(編)入学

②正科生を退学or卒業し科目等履修生に再入学

上記①or②を希望する場合は、下記を行ってください。

- ・8/31までに「再入学予定者 事前申告書」（『With』124号巻末）を提出（未提出で9月のスクーリング受講・科目修了試験受験・レポート提出を行った場合、再入学できない場合があります）。

- ・10/15までに出席（『学生募集要項 2017』をお取り寄せてください）。
- 注1）『学習の手引き』4章Ⅲおよび『学生募集要項 2017』をよくご確認ください。
- 注2）「退学願」（卒業以外の正科生）、もしくは「学生証返納・修了届」（科目等履修生）の提出も9/30までに行ってください。
- 注3）再入学時点での学費やカリキュラムが適用されるため、学費は現在よりも高くなり、カリキュラムも変更になる場合があります。  
※特別支援学校教諭免許状および高等学校免許状（福祉）については、取得ができなくなります。
- 注4）現在の学籍で9月に科目修了試験受験・スクーリング受講・レポート提出をする場合は、それらの結果が出た後10/15までに再入学手続き（出席）を行ってください。

#### 【学習上の空白期間のご注意】

10月以降の学習開始が新学籍での履修登録完了後となるなど、手続きには時間がかかるため、学習上の空白期間（レポート提出、スクーリング受講、科目修了試験受験ができない期間）が発生します。

## 3 科目等履修生の継続手続き

※『学習の手引き』4章Ⅳもよくご確認ください。

### 1 来年度継続を希望される科目等履修生

#### 【10月生科目等履修生の方へ】

大学より、8月上旬に「継続手続き書類」が届きましたら、よくご確認のうえ下記手続きを行ってください。

- ・継続手続き書類（「履修希望科目登録用紙」等）の返送＝10/10まで
- ・授業料（1単位あたり6,000円）の納入＝10/20まで

※今回の継続にあたって在籍更新料30,000円は不要です（学籍番号が12TZ・15TZ・15TG・15THで始まる10月生は2018年9月末まで、13TZ・16TZ・16TG・16THで始まる10月生は2019年9月末までは、毎年履修登録・継続手続きを行えば在籍更新料なしで在籍が可能です）。

※高等学校教諭免許状（福祉）の「教職に関する科目」につきまして、本年度に正科生の履修者がいない可能性があります。その場合、履修登録はできませんのでご注意ください。

#### **【2014年10月入学の科目等履修生 14TZ・TG・TH701～999】**

#### **【2014年10月に在籍更新をした科目等履修生 03～11TZの学籍の方】**

大学より、8月上旬に「在籍更新手続き書類」が届きましたら、よくご確認のうえ下記手続きを行ってください。

- ・在籍更新手続き書類（「履修希望科目登録用紙」等）の返送＝10/10まで
- ・授業料（1単位あたり6,000円）、在籍更新料（30,000円）の納入＝10/20まで

※上記の生科目等履修生の方は、本年9月末で一旦現在の学籍が修了扱いとなり、本年10月以降も継続して学習する場合は在籍更新手続きおよび在籍更新料が必要になります（以後3年間在籍すること）。

※学籍番号は変更になりません。

※本年度入学者のカリキュラムが適用されます（ただし、高等学校教諭免許状（福祉）、特別支援学校教諭免許状を希望している方は、2014度入学者のカリキュラムを継続することができるものとします）。

## 2 来年度学習の継続を希望されない科目等履修生

「科目等履修生 学生証返納届」(『学習の手引き』巻末様式19(幼保特例講座受講者のみ希望によって様式15))に学生証を貼付のうえ送付してください。

※単位修得証明書の発行をお急ぎの場合

8/31の提出期限にかかわらず早めのレポート提出を!

## 3 現在在籍中のすべての10月生科目等履修生の方へ

- ・継続手続きを行わない場合の在籍期限=9/30まで
- ・今年度のレポート提出期限=8/31まで(ただし早めにレポートを提出しないと「再提出」の機会がなくなりますのでご注意ください)
- ・科目修了試験受験・スクーリング受講期限=9/10まで(9/9以降のスクーリング受講を希望する方は別途お申し出ください)

※科目等履修生に休学制度はありません。新年度の履修登録を10/10までに行わない方は修了となり学籍を失います。

## スクーリング・アンケートより(4)

アンケートよりスクーリング講義の感想を抜粋いたしました。

### ●社会福祉援助技術論A 川口 正義

- ・知識を得るための講義というよりも、先生自らの体験を踏まえたソーシャルワーカーの覚悟と心構えを学んだ二日間となりました。テキストを読むだけでは分からなかった福祉の実態から目を背けないこと、自分の幸せ以上に要支援者の幸せを目的としなければならないことなど、自分自身の意識の変革になりました。
- ・実際に現場の声や当事者の生の声（思い）を授業の中で聞くことができ、また先生の熱い思いもスクーリングを通して感じることができました。現在、分野の違う現場で働いているため、生の声を聞くことがなかったのでスクーリングにはできるだけ出たいと思いました。

### ●福祉社会学 赤塚 俊治

- ・福祉社会学は難しい学問だと思っていたが、先生の熱意ある講義に引き付けられ「目の前にいる人ではなく、その視線から隠れている人を見ることが、それが社会福祉の原点である」と言う言葉に、どのようにしたら良いのかということが分かり、実践していこうと思いました。
- ・普段生活している中で家族・職場・隣人等とのつながりを社会学の視点で見ると新鮮だった。関係性やその原理にも名称があって最初は難しいと感じたが、実はとても身近なものでとても興味が沸きました。

### ●心理療法 秋田 恭子

- ・私ごとですが、初めてロジャースがカウンセリングしているのを見ました。写真や本でしか見たことがなかったので、伝説の人に会えた気持ちでした。やはりカウンセラーの3つの態度が自然に出ていてとても勉強になりました。
- ・ロジャースの面談・認知行動療法・遊戯療法・箱庭療法など様々な療法をDVDで見ることができたことは非常に勉強になりました。

### ●精神科リハビリテーション学 稲毛 義憲

- ・精神障害者を支援していた時、常に思っていたのは、もしかしたら自分もそして身内にももしかしたらなってしまうかもしれない障害なのではないかと、思っていました。今回の授業を受けもし自分になったら、家族がなったらという視点をもちたいと考えました。リハビリテーションは回復に向けての手法であり取り組みです。事例やDVDを通して考える機会ができ勉強になりました。